

引率者用 事前学習資料

この度は請戸小学校にお越しいただき、ありがとうございます。

本校は海岸から300mに立地しており、地震発生から約50分後に津波が直撃した小学校です。児童93名全員が助かった「奇跡の学校」として知られていますが、ご来場者のみなさまには震災を身近な存在として感じていただくキッカケになっていただけたらと思います。

問いかけてみて
ください！

Q こんなときどうする？

【 立っていることもできない大きな揺れ（震度6強）が発生しました。
あなたはどのような対策をしていますか？ 】

case 1

自宅、学校、職場の危険性

自分たちの暮らしている、通っている学校や職場では、大地震の直接的な被害（倒壊・地割れ）や二次災害（火災・津波・土砂崩れなど）はどのようなことが起こるか想像したことはありますか？



避難経路や防災グッズの準備はできていますか。

case 2

通信手段の断絶

携帯電話や固定電話が使えなくなってしまった時に、家族や友人などどのように連絡を取り合うか話し合ったことはありますか？



災害時は日常使用しているものが全く役に立ちません。

請戸小では、普段からこんなことを意識していました。

考えられるリスク



地震

津波

原発事故

そのための対策

- ・ 職員は、自然災害は必ず起こるものという認識を持つ
- ・ 普段から災害時の最善を知る / 考えておく
- ・ 先生と子どもの信頼関係を築く
- ・ 地域の人との繋がりを大切にする

ホームページに、実際に震災を経験した方々のお話を掲載しています。
事前学習の際にお読みいただくとより一層理解が深まると思います。

